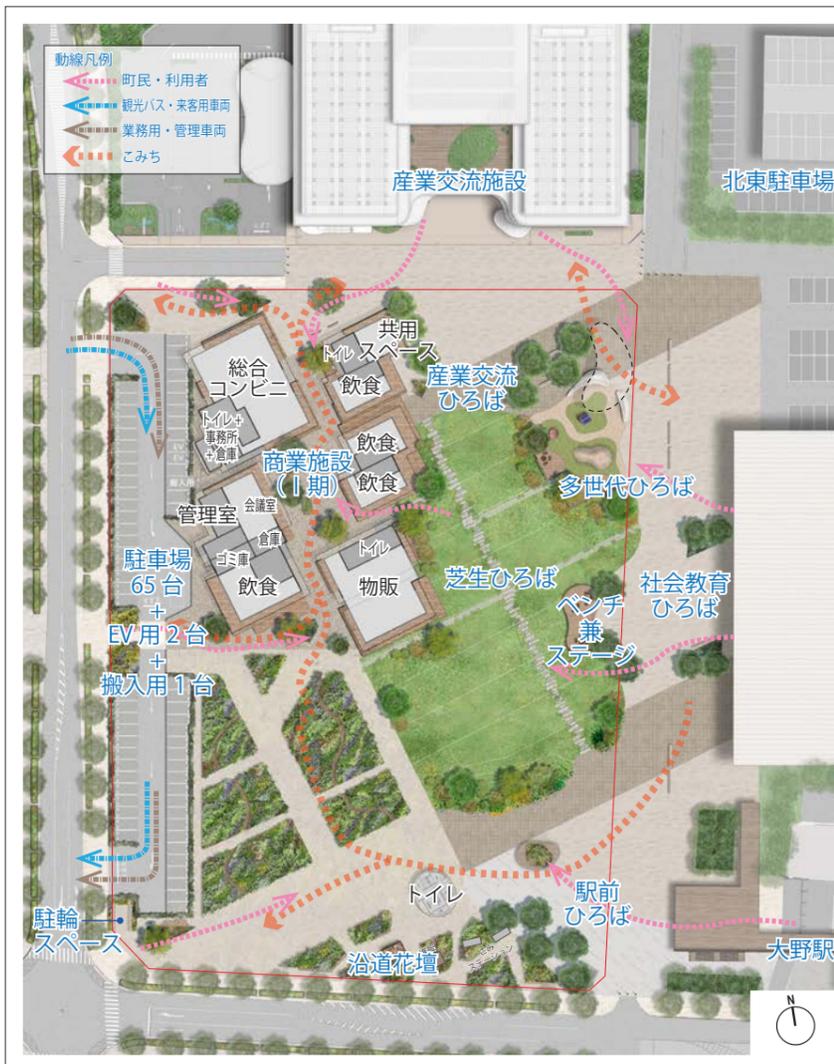


大熊町 大野駅 西商業施設 整備事業



本事業の整備方針

人を呼び込む

- 産業交流施設をはじめとした大野駅西地区内の他施設と一体的な利用を目指し、**機能の相互補完**を図ります。
- 社会教育複合施設、大野病院、南側将来開発を含む**地区全体の賑わいと回遊性を創出し**、日常的に人々が行き交う利便性の高い地区とします。
- 交流・関心人口や、関係人口を増やし**、人々を呼び込み、集まる町をつくります。

交流を生み出す

- 大野駅西地区全体がお祭り等の地域行事やイベントの場となり、**町民同士の交流**を図るとともに、日常的に人々が集まり**コミュニケーションを生み出す場**として計画します。
- 大野駅西地区の中心にある立地特性を最大限活かし、町民・来訪者・就労者など、**多様な目的の人々が集い交流できる、町のシンボルとなる場**をつくります。

安心してながく使う

- 「ゼロカーボンタウンの先進地」として脱炭素に向けた取り組みを積極的に導入し、**大熊町を先導して大野駅西地区でのゼロカーボン化の達成**にチャレンジします。
- 災害時でも**持続可能なインフラを整備**するとともに、環境にやさしいまちづくりを先導することで、町民の環境に対する意識を高め、施設やオープンスペースを**安心してながく使うことのできる地区**とします。

整備方針を実現する全体計画の3つの柱

1. 開発段階に応じて周辺施設と連携し、一体的な利用を促進します

周辺施設との連携・将来開発に対応する配置計画

- 地区の中心に位置する商業施設と広場は、産業交流施設や社会教育複合施設等と連携し、**一体的な駅前の賑わい**を生み出します。
- 開発段階に応じて、周辺施設のオープンスペースと**連結する動線**を計画することで、**回遊性を確保**します。それらの動線は、将来開発においても連続的に拡張させ、**地区全体の開発に柔軟に対応**します。



2. 多様な活動を誘発する場をつくり、賑わい・交流を創出します

交流を生み出す「商業施設」と「広場」

- 商業施設は、阿武隈山系の山並みや周辺の街並みに調和し、かつての商店街のように人々が集まり交流できるような、**賑わいのある居心地のよい場**を創出します。
- 広場は、商業施設を含む周辺のアクティビティと活気があふれ出すことで**駅西地区の中心**となり、**各施設をつなぐコミュニケーションの場**として計画します。



3. 先進技術の導入により、人にも環境にも優しい地区を目指します

「4つのゼロ」の達成に向けた取り組み

- エネルギーやカーボンのみならず、水(ウォーター)、廃棄物(ウェイスト)の4つのゼロ化を目指した**先進的な取り組みを実施**することで、**今までにない環境地区**として、環境負荷の低減と、光熱水費の削減を両立します。
- 大熊町ゼロカーボンビジョンと整合を図り、**エネルギー供給の安定化**や**防災対応の強化**を見据え、**II期以降で有用な水素活用技術**を提案します。



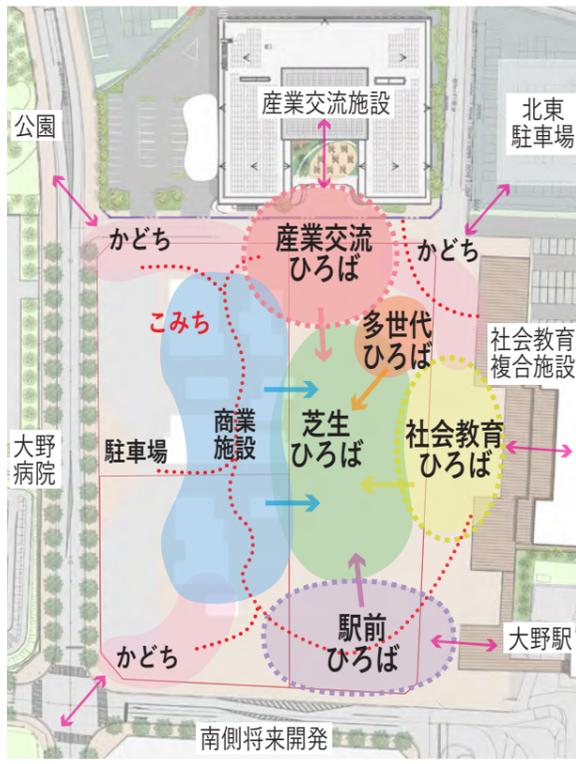
周辺施設との連携を強化する「ひろば」と「かどち」

- 広場や原っぱのように自由に時間を過ごす「ひろば」と、角に位置し周辺から人々を呼び込む「かどち」を設けて、**周辺施設と一体で利用でき、賑わいを生む商業施設・広場**を提案します。
- 周辺施設の前面には産業交流ひろば・社会教育ひろば・多世代ひろば・駅前ひろばを設け、**周辺施設と連携して一体で利用しやすい計画**とします。

- 5つのひろばと商業施設が、中央の芝生ひろばを取り囲む分かりやすい配置とします。

- 周辺から人々を呼び込みやすい計画地の角には「かどち」として商業施設・広場の顔になり、人が滞留しやすい休憩スペースを設けます。

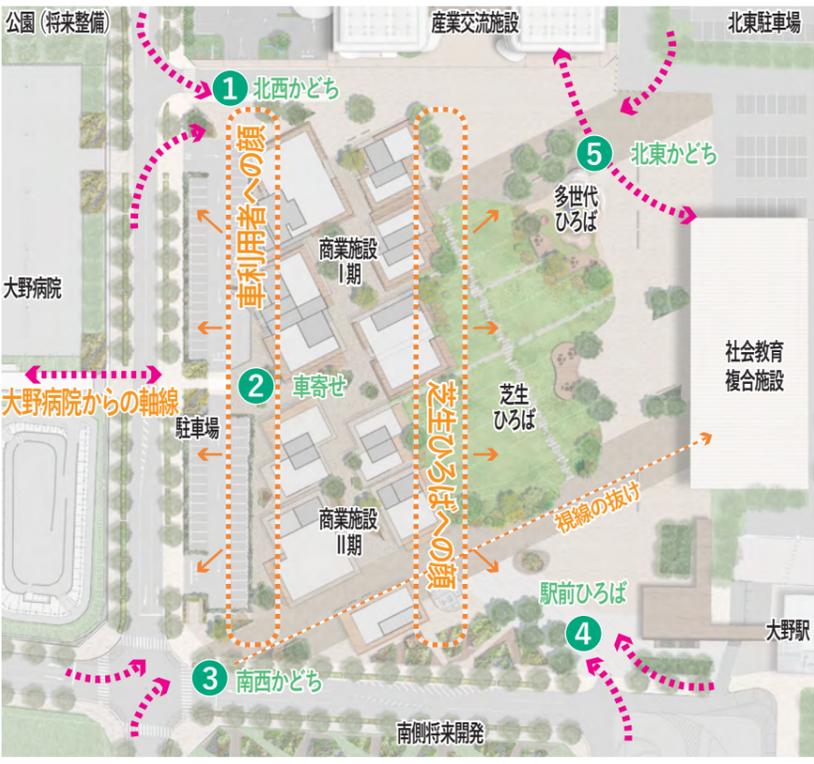
- 「かどち」や「ひろば」は「こみち」で結びます。



周辺との連携強化のための5つの「ひろば」3つの「かどち」

周辺から人々を呼び込む大野駅西地区の顔

- 敷地の角に設けた「かどち」により、大野駅西地区の玄関口をシンボリックな空間として整備します。



周辺街区との接点となる「かどち」

① 北西かどち：車利用者のエントランス

北側道路から訪れる利用者が最初に目にするエントランス空間として、休憩スペースを設け商業施設の顔を作ります。北西に整備予定の公園や産業交流施設に向かって緑のつながりを生み、動線と人々の滞在スペースが連続する計画です。



車利用者も就労者も利用しやすい総合コンビニ前

② 大野病院からの軸線上に設ける車寄せ

大野病院からの軸線上にある駐車場の西側中央付近には、**大型バスも停車可能なメインの車寄せ**を設けます。車やバス利用者が乗降するスペースとして利用できます。



大型バスも乗入れ可能な車寄せ

③ 南西かどち：車利用者のエントランス

南西かどちからは、商業施設・芝生ひろば・社会教育複合施設まで視線が抜けた歩行者動線が続きます。**商業施設や芝生ひろばの賑わいを感じられる、歩いて楽しい動線**となります。



まっすぐに視線がぬける南西エントランス

④ 人々を出迎える駅前ひろば

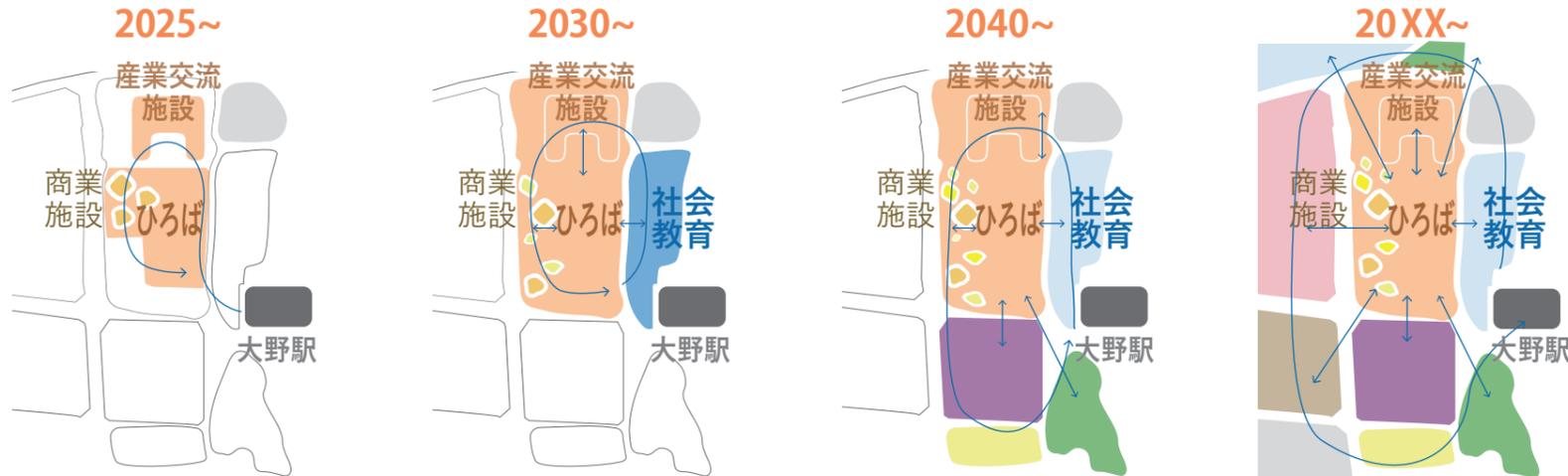
駅前ひろばは、電車で訪れる人を出迎えます。駅前ひろばの向こう側には、**広々とした芝生ひろばと隣接する商業施設の賑わいの風景**が続きます。



駅前で人々を出迎える駅前ひろば

段階的な進展を見据えた商業施設・広場の提案

- 町民・来訪者・就労者の増加を見据え、今後整備される施設との機能連携や多様な使い方が可能な計画とします。



I期竣工から大野駅西地区が段階的に発展するイメージ図

⑤ 北東かどち・多世代ひろば

北東かどちに隣接して、木立や遊具のある子どもたちの遊び場、休憩スペースを設けた**多世代ひろば**を配置します。駐車場、産業交流施設と社会教育複合施設を行き来できる歩行者中心の空間とします。



施設間の往來の経路上にある多世代ひろば

■周辺施設との交流の結節点『芝生ひろば』

・施設間の移動や通り抜けなど人の流れが交差したり回遊しながら賑わいの循環を生む交流の拠点とします。

■こみちを中心として生まれる町のシンボル

・日常的に集える休憩スペース、商業施設の拡張スペース、お祭り・マルシェ等のイベントスペースとして、町民・来訪者・就労者が集まります。人々が集まり、交流する風景が、こみちをきっかけとして商業施設・広場に生まれ、大熊町の新しいシンボルとなっています。

■車両出入口・歩車分離

・西側に車の出入口を2箇所設け、車両と歩行者の動線を明快に分けることで歩行者の安全に配慮します。

■高低差を棟ごとに解消し、誰もが使いやすい分棟の商業施設

・北西から南東へかけて、全体で4mある地盤の高低差を棟ごとに解消します。商業施設の建物を1~2店舗ごとの分棟形式とすることにより、店舗出入口の高低差を最小限にすることが可能です。バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮し、誰もが使いやすい計画とします。

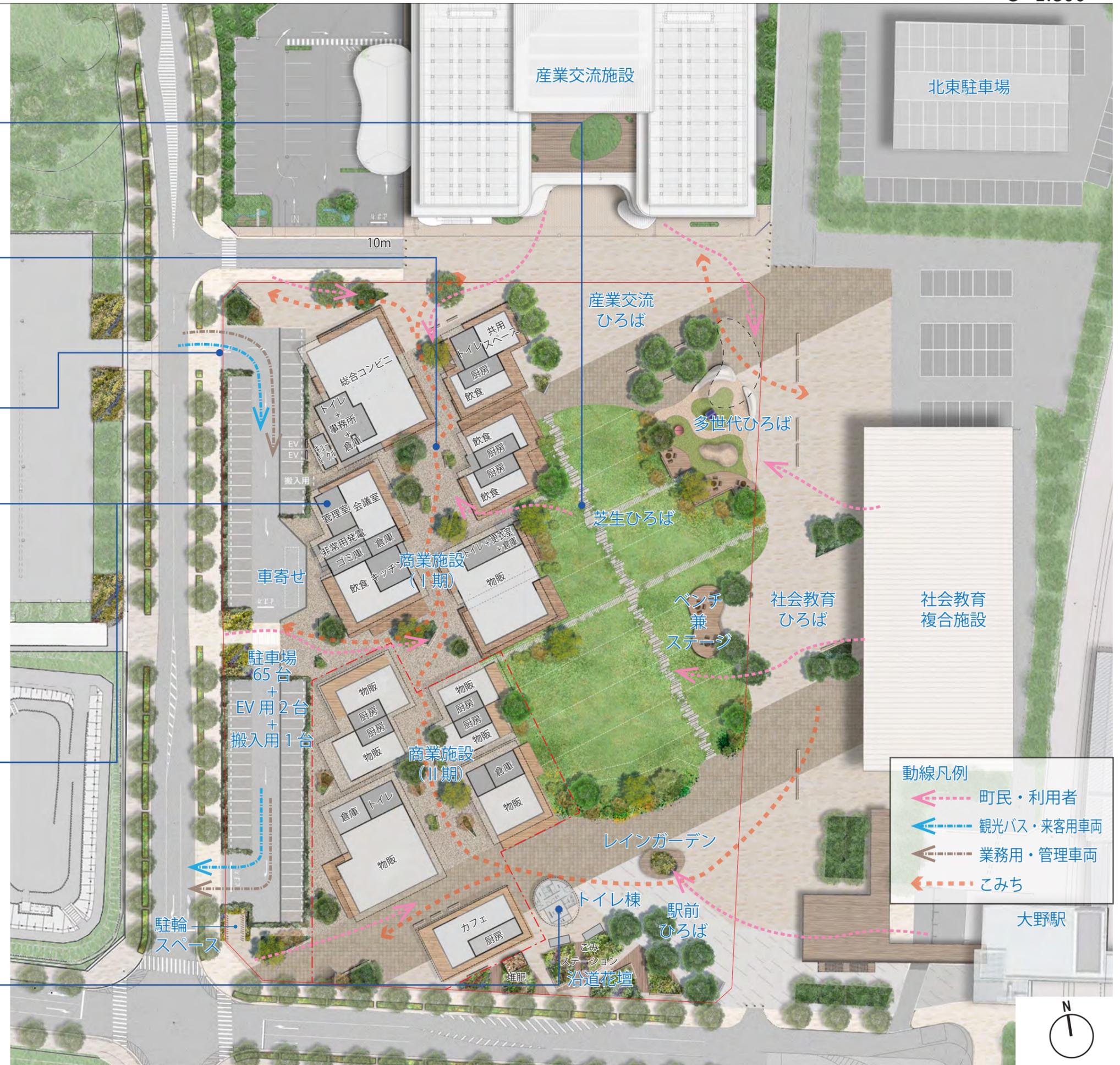
・かつての商店街の記憶を継承し、こみちに沿って各店舗が顔を出す1~2店舗ごとの分棟形式とします。

■建物をずらして生み出す、外部の共用スペース

・雁行配置により生まれる建物間の空間は、客席や休憩スペースとして庇やウッドデッキを設ける等、居心地の良い設えとし、利用者が時間を過ごしたくなる共用スペースとして整備します。

■倉庫と一体となったWC棟

・駅前ひろばに、倉庫と一体となったWC棟を設けます。トイレの洗浄には雨水を利用し、上水破断時でもトイレの洗浄が可能なBCPにも配慮した計画です。



動線凡例

- ◀---町民・利用者
- ◀---観光バス・来客用車両
- ◀---業務用・管理車両
- ◀---こみち



平面図 (商業施設)

■総合コンビニ

- ・産業交流施設から近い駐車場に隣接して配置することで、コンビニとしての利便性に配慮します。
- ・こみちに面して滞留性を高めるイートインスペースを設置するほか中庭に面して設置した外部デッキを利用したイベントも開催できます。



■こみち

- ・商業施設の間を通り抜ける緑豊かなこみちは施設を利用しなくても利用できる歩行空間です。
- ・建物の外周部に設置されたデッキと連続的に利用することで、日常のコミュニケーションの場としてだけでなくイベントスペースとしても利用できます。

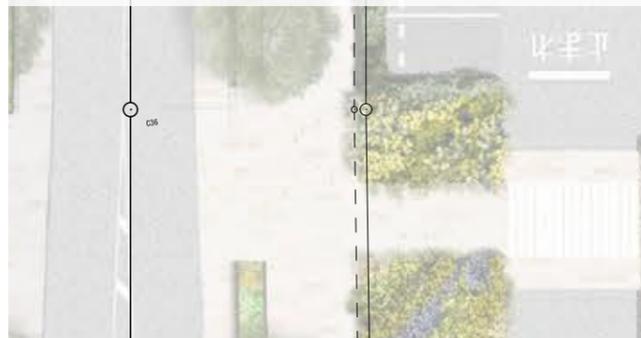


■管理室

- ・駐車場側への視認性に配慮し、西側に設置します。車寄せにも面した位置で、管理しやすい配置です。

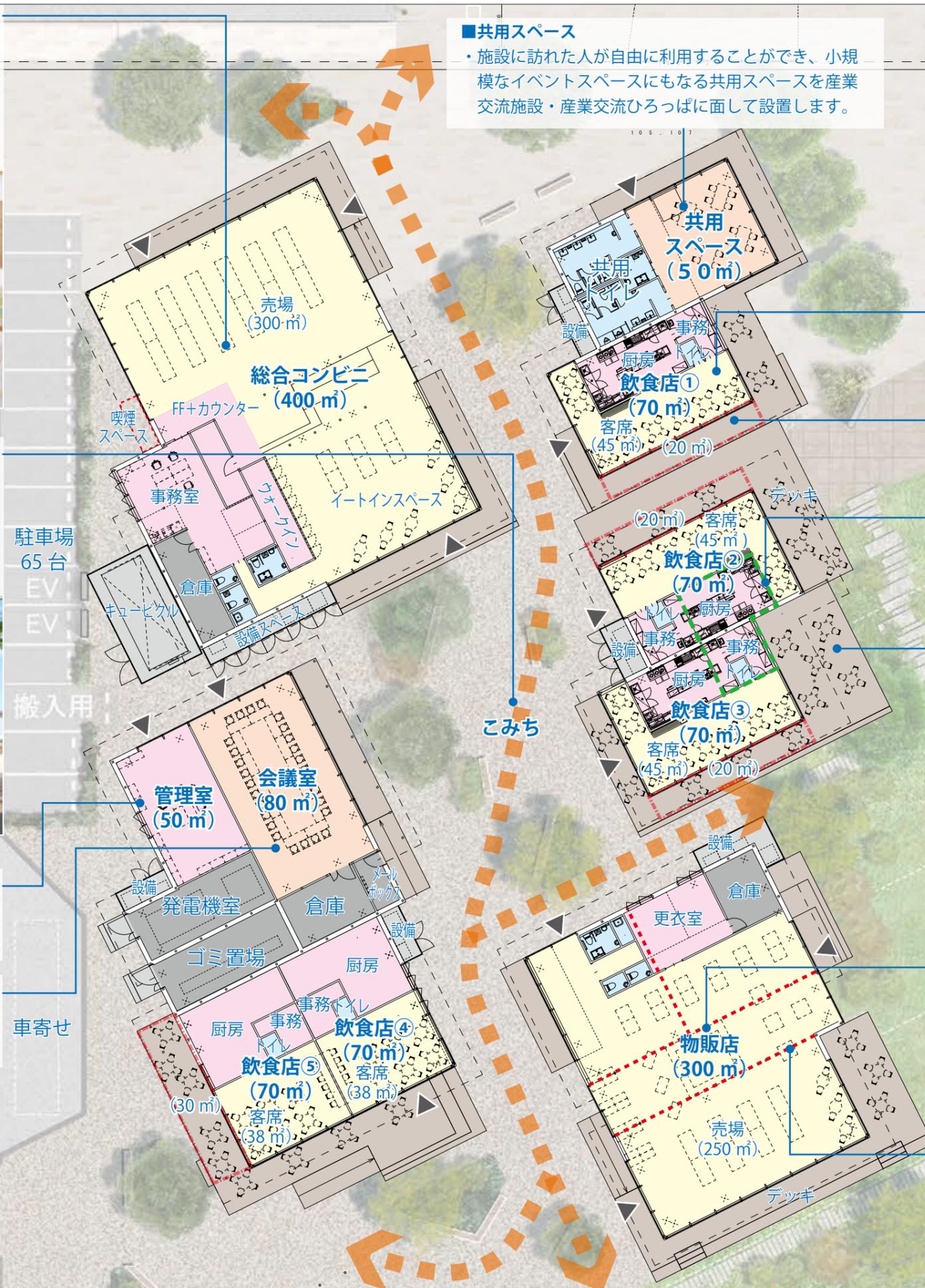
■会議室

- ・会議室は外部貸出することで、内外一体となったイベントスペースとしても利用できます。



■共用スペース

- ・施設に訪れた人が自由に利用することができ、小規模なイベントスペースにもなる共用スペースを産業交流施設・産業交流ひろばに面して設置します。



■飲食店

- ・外周部の建具を開放すれば外部のデッキと連続的に利用できます。

■拡張可能スペース

- ・将来的な増築を見込み、拡張スペースをあらかじめ確保するほか、テナントが外部テラスとして利用できます (20m²)。

- ・飲食店②③は将来的に1店舗として統合できる計画とします。([] : 統合した場合の厨房規模)

■フリースペース

- ・来訪者が自由に利用できるスペースを各店舗に設置します。芝生ひろばやこみちと連続した活用、軒下の休憩スペースとして提供します。



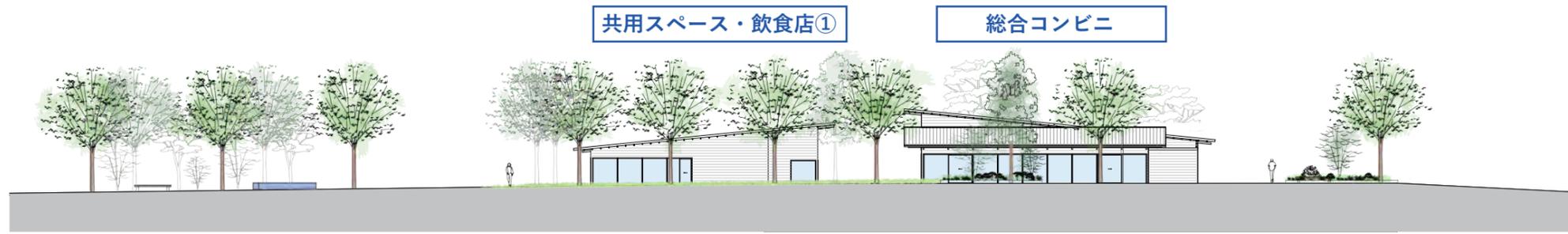
■物販店

- ・内部に極力柱を落とさずフレキシブルな計画とすることで、レイアウトの自由度を高めます。
- ・外周部のサッシを開放してこみち・芝生ひろばに面した外部デッキを利用したイベントを開催できます。

- ・物販店は間仕切りで分割できる計画とします。中央部はサービススペースとしても活用できます。

芝生ひろば





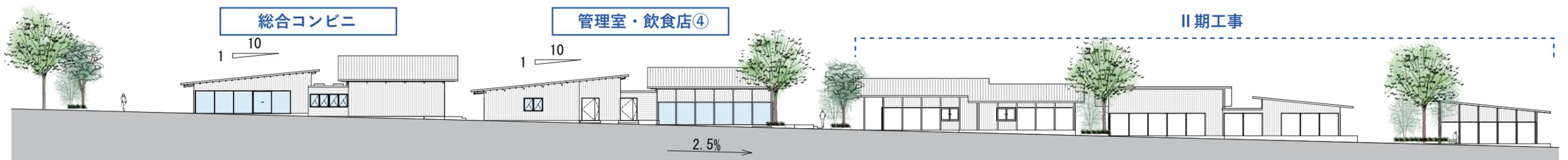
立面横断図 北



立面横断図 東



立面横断図 南



立面横断図 西